

Weekly Report of Inuyama



犬山ロータリークラブ

INUYAMA R.C.



人類に
奉仕する
ロータリー

国際ロータリー2016～2017年度テーマ

Rotary  第2760地区
犬山ロータリークラブ

■会 長：田中進一郎
■幹 事：高橋 秀治
■会報委員長：近藤 俊也

事務所／〒484-0081 犬山市大字犬山字西畑 22-5
電 話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U R L／<http://www.inuyama-rc.org/> e-mail／info@inuyama-rc.org
例会場／〒484-0082 犬山市大字犬山字北古券 107-1 名鉄犬山ホテル
電 話／0568-61-2211 毎週火曜日／12：30～13：30

第2692回 例 会 (H 2 9 . 4 . 1 8 火 晴 れ ※)

点 鐘 田中 進一郎会長

R . S それでこそロータリー 四つのテスト

ビジター 林 通弘様

幹事報告 小川 誠副幹事

1) 下記クラブは例会変更です

ニコボックス (埴田惣一委員長)

本日の投函金額 52,000 円

| クラブ名 | 例会日 (曜) | 場所 (変更理由) |
|---------|-----------------------|----------------------------|
| 犬 山 | 4月25日(水) | (職業奉仕担当 早朝例会) |
| 名古屋城北 | 4月25日(水) | (定款 8-1 による休会 (同週祝日振替)) |
| 愛知長久手 | 4月25日(水) | (休会(同週祝日振替)) |
| 岩 倉 | 4月25日(火) →4月22日(土) | (地区協議会) |
| 瀬 戸 北 | 4月25日(火) →4月29,30日 | (春の家族会) |
| 各 務 原 | 4月26日(水) | (職場例会) |
| 可 茂 | 4月26日(水) →4月23日(日) | (早朝清掃活動) |
| 可 児 | 4月27日(木) | (夜間例会 IGM) |
| 名 古 屋 北 | 4月28日(金) | (名古屋名城 RAC との合同夜間例会) |

出席報告 (丹羽敬昇委員長)

出席率 86.00%

会員 56名 出席 43名 欠席 13名

欠席者 牧野武彦君 松平實胤君 大海敏道君
祖父江寿男君 高橋秀治君 谷定貴之君
宇佐美芳樹君

前例会の修正(4/11分)

加藤浩一君(3/30 第5回 R 財団委員会運営会議)祖父江
寿男君(4/12 可茂 RC)梅田佳和君(4/14 春の交通安全県
民運動)宇佐美芳樹君(4/13eCLUBONE)

以上 92.00%を 100%に修正

前々例会の修正(4/4分)

鈴木一成君(4/13eCLUBONE)牧野武彦君(4/13 名古屋
大須 RC)

以上 96.15%を 100%に修正

祝 福 (福富孝弘委員長)

おめでとうございます!!

会員誕生日 宇佐美 芳樹君

皆出席 14年 紀藤 政司君

皆出席 14年 吉野 育志君



新会員スピーチ

プログラム・出席委員会 (丹羽敬昇委員長)

☆ 梅田 佳和君



皆さん、こんにちは。犬山市で建築設計事務所をしております(株)梅田設計の梅田佳和と申します。この度は、歴史と伝統ある犬山ロータリークラブに入会させて頂き有難う御座いました。入会させて頂き10ヶ月が経ちました。皆さんに温かく接して頂いているお陰で、とても楽しく過ごさせて頂いております。有難う御座います。

本日は新入会員スピーチという事で自己紹介を中心にお話をさせて頂きたいと思っております。私は現在49歳、今年度で50歳になります。犬山南小学校区で生まれ、市内の中学校、高校に進みました。大学から20年間、東京都で大学生活、サラリーマン生活を送り12年前に故郷犬山市に戻ってきました。大学受験時、私は現在の建築士という仕事に就く事は全く考えておらず、何となく会計士になれたらいいなと考え商学部に入学しました。最初は会計士になるべく勉強をしていたのですが、社会人の人と話す機会も多くなり、自分が本当に就きたい職業は何だろうと真剣に考えるようになりました。東京都には著名な建築家の設計の建物が至るところにあり、それらを目にしているうちに、建築にとっても興味を持っている自分に気がきました。そのため、少し回り道となりましたが、大学卒業後、3年間昼は設計事務所で働き、夜は建築の専門学校に通い実務経験を積み、人より少し遠回りをして一級建築士の資格を取りました。本当なら大学は建築学部を卒業する事が一級建築士の資格をとる一番の近道なのですが、今ではこの回り道がとても有意義だったと思っています。迷惑は掛けてしまったのですが、一度は就職活動し内定を頂き、将来について迷いに迷って内定を辞退させて頂き、その時は無謀な挑戦なのかなと思いつつも後悔したくないという気持ちから夢に全力で向かっていきました。あの時は辛い事もたくさんありましたが、自分を成長させた時間だったと思っています。

大学卒業後、16年の修業?を経て祖父、父と続く現在の会社に入社致しました。仕事の内容はお客様の関係で工場、倉庫等の鉄骨造の建築物を中心に、共同住宅、個人住宅等の設計をさせて頂いております。最近では、新築ばかりではなく、リフォームの設計もさせて頂いております。

家族は妻と高校2年生の男の子、中学2年生の男の子の4人家族です。たまに反抗的な態度をとったりする事もありますが、子供達の元気な姿、笑顔が現在の私の活力となっております。

趣味は「運動する事」、ホッケー、バトミントン、テニス等を週1回程度しております。他にも、夜、時間があるときはジムに行っておトレーニングをしています。そして「寺社仏閣巡り」、今、女性の中でも流行っている御朱印を私も集めています。

最後になりますが、今、自分が心掛けている事をお

話させて頂きます。たくさんあります。「笑顔でいる事」、「素直でいること」、「感謝の気持ちを持つ事」、「前向きでいる事」です。本当なら、自然とそれらができていればいいのですが、それができていない時があるので常に意識してそうでありたいと思っています。近くにいる人、出会った人の行動や考え方でこれはいいなと思った事があれば常に取り入れています。そして「きれいな心でいたい」と思っています。「人の喜びを自分の喜びと感じ、人の悲しみを自分の悲しみと感じる」でいたいと思っています。

皆さんから、たくさんのお話を学び吸収していきたいと思っております。まだまだ未熟な私ですが宜しくお願い致します。

☆ 山田 直廣君



ゴルフ場に勤めておりますので、ゴルフのお話をさせていただきます。ゴルフに興味のない方はしばらくご辛抱下さい。

まずは弊社の歴史を紹介いたします。

昭和36年9月、犬山市の協力があって名古屋鉄道が民有林と一部国有林10万坪を買収いたします。昭和38年犬山入鹿池観光開発株式会社設立。昭和39年4月、3回回ってワンと言われた6ホールで仮営業をいたします。18ホールでの営業は昭和40年11月6日です。

59年から2グリーン化に着手、62年4月、株式会社犬山カンツリー倶楽部に名称変更、平成3年から練習場、トイレ、ふろ場などの大改修を得て、セルフのお客様に対応できるよう平成17年に電磁カードを導入、今日に至っております。

日本のゴルフプレーヤーの平均年齢は約65才で、全体の約60%を占めております。これからのゴルフ業界を担うべき20代30代は少数です。あとでそのあたりのことは触れさせていただきます。

日本のゴルフ人口の推移表と右側日本のゴルフ場の数の推移表です。1957年からの表です。1957年、昭和32年、私が生まれた年ですが、当時ゴルフ人口は約200万人、その後高度経済成長期を迎え、ピークは1990年バブル最盛期です。約1350万人、18歳から80歳までで換算すれば実に約7人に1人はゴルフを楽しんでいた計算になります。そしてバブル崩壊、ゴルフ人口は減少に転じます。今年は900万人を割り込み、何も手をうたなければ東京オリンピック開催年2020年には約800万人との予想があります。ゴルフ場だけにとどまらず、練習場、ゴルフ用品業界も右肩下がり傾向に歯止めがかかりません。ゴルフ場の売り上げもかつては、2兆円規模でありましたが、いまや1兆3000億円と言われております。

原因とすれば少子高齢化、法人接待ゴルフの激減という構造的なもの、加えてゴルフ業界の努力不足、対応の遅れです。業界は他のレジャー業界との椅子取りゲームに負けています。様々なレジャー業界では、低価格化や価格破壊が極限まで進んでいます。これが薄利多売、数量景気などと言っているうちはまだしも、昨今ほどのレジャー業界もデフレスパイラルに陥って

います。いくら値下げをしても客はやってこない、ということなのです。

この結果、レジャー業界では勝ち組、負け組という二極化を通り越して1強百弱ともいえる現象が生まれております。

外資系のアコーデアホールディング、平成26年には90のゴルフ場を売却しており、保有から運営へと経営の軸足をシフトしておりますが、そのほか、パチンコメーカー平和のPGM、同じくパチンコメーカー マルハンの太平洋クラブなどが席卷しています。

日本ゴルフ協会の首脳部はジュニア対策に力を注いでおりますが、地域差や温度差があり、足並みはそろっておりません。

私はジュニア対策は難しく厳しいと思っております。今の若年層は難しい相手です。もの心がついた時には既にバブル経済崩壊後の不況のさなかで、もともと消費にはケチケチの世界です。全体としてゴルフ、車、パチンコなどには見向きもしません。お金がかかりルールにうるさく、ゴルフ場に出るにも練習を積まなければ行けないなど、敷居が高いレジャーに若者は振り向いてはくれません。

平成28年1月から12月の愛知県内18ホールに限ったゴルフ場ですが、年間入場者数のランキング表です。1位の半田リンクスはネット予約がほとんどで年中無休、年間62,784人の来場です。当倶楽部は15位に甘んじております（愛知県内ゴルフ場数51、18ホール36）。

次にゴルフ料金の中のゴルフ利用税についてご説明をさせていただきます。娯楽施設利用税という名称からゴルフ利用税に変わりましたのは平成元年でした。表はその利用税のランキング表、下の表がゴルフ場の数のランキング表です。北海道はゴルフ場が多いんです、クローズの期間が長い、利用客が少ないことで税収が少なく、愛知県や岐阜県などは利用が多く税収が潤沢と言えます。国内の年間の利用税合計は約500億円とのことで、その70%が市町村税に交付されます。住民が少なく工場やスーパーがない村落もゴルフ場が多いところは意外と整備された村という事になります。極力地元でゴルフをしましょう。犬山市からのお願いを代弁させていただきました。

最後に「ゴルフ夜明け前」を紹介させていただきます。落語の一部です。

幕末、長崎のグラバー邸では武器調達の交渉をしております海援隊の坂本龍馬は、ゴルフをすれば交渉事が平和に、そして早く進むとグラバーに教えられさっそくゴルフを始めます。海援隊は後藤象二郎の後ろ盾を得て商人、天王寺屋ごへの資金援助で京都伏見に日本初のゴルフ場を建設いたしました。

ある晩の京都料亭、坂本龍馬、西郷隆盛の会談です。

西郷「坂本どん、その脇に置いてある棒はどげんかするのんでごはんど？」

坂本「西郷さん、これはゴルフのクラブというもので、エゲレスで流行っている遊びの道具、ですきに。この棒で球を当てる遊びですきに」

西郷「なんと！棒で球を当てもうすか・・・痛か遊びでござんな」

坂本「木の樹脂で出来た球をこのクラブで当てるぜよ」「西郷さん。エゲレスの今は平和で、ゴルフは町民も商人も役人もみんな平等に楽しめるスポーツぜよ」「今度新撰組の近藤勇をゴルフに誘ってみるぜよ」

西郷は、それがもし長州の人間に知られたら、危険だからやめろというが、坂本は心配ないと言います。

一方新撰組でも龍馬の誘いに応じた近藤に、土方は怪しいから会うのはやめると、当時密会は深夜と決まっているのに朝早くに会うとはおかしい。しかも軽装で山に来いと何かを企んでいるに相違ないと言います。

そんな土方を説き伏せ、近藤は沖田総司を連れて坂本が指定した山の中の原っぱに行くと、そこには坂本龍馬、中岡慎太郎がいてゴルフをしようとルールやクラブの持ち方、打ち方を説明します。真面目で面子にこだわる近藤勇、身体能力抜群な沖田総司。

ゴルフが始まりました。1番ショートホール、パー3。

坂本「近藤さん、打つ順番はじゃんけんで決めるぜよ」

沖田「局長それがいいですよ」

近藤「坂本さん、我々新撰組は、剣は強いがじゃんけんは弱い。それに一。新撰組は先手必勝を旨としております。したがって我々から打たせていただきます。総司、きみから打ちたまえ」

沖田「えーっ、私からですか」

近藤「天然理心流の極意をみせてやりなさい」

さすが沖田総司であります。放ったボールはナイスオン。ワンオンです。

続いて近藤勇、強面の顔をいっそう固くして、むつと放ったボールは大きく右にOB。

坂本「近藤さん、OBと言うもので、規則によりやり直しですきに」

近藤「なに？OB？総司、後ろの帯を締め直してくれ」

坂本「その帯ではなく、球は外に出てはいけないという規則に違反したから、もう一度打たなきゃならん、ですきに」

近藤「なに？規則を破ったのか。むーっ、致し方ない。総司、介錯を頼む」

坂本、中岡が何とかいさめて打ち直した球はバンカーに。近藤は砂で全身きな粉餅みたいになりながら、そんな真面目でいちずな姿を坂本、中岡は笑いをこらえて見ております。そしてやっとなら35打目にグリーンオン。

1日中ゴルフを楽しんだ近藤、沖田はすっかりゴルフに魅了され、毎晩こっそりと木刀でゴルフの素振りをして、誠の旗を見るとグリーンの旗に見えてしまう有様、龍馬から次の誘いを今か今かと待っていましたが、竜馬は暗殺されています。

2ヵ月後、鳥羽伏見の戦いに敗れた新撰組 近藤と沖田は逃げ落ちる途中、龍馬と遊んだゴルフ場にたどり着きます。しかし、そこも討幕軍の砲撃を受けて崩壊しておりました。焼け残ったクラブを見つけた近藤は沖田とともに空想ゴルフを始めようという事になりました。

以前35打目にグリーンオンした1番ショートホールです。

沖田「局長ナイスオン。きっと穴に近いですよ。バーデイトライとかいうものですよ」

次、沖田が打ちます。

近藤「総司、君の球はバンカーだ」「えっ？」

沖田「局長！！段々と爆弾の音が近づいてきます。もうやめましょう」

近藤は、おそらくもう京都に来ることはないから、最後の思い出を作ろうと思ひ、

近藤「総司、最後までやっぺいこう」

沖田「しかし局長、砲弾がすぐそこまで落ちてきます。あきらめて大阪城に急ぎましょう」

近藤「何を言っているのだ。最後まで戦う。これが新撰組 誠の魂なのだ」

局長は走ってグリーンに向かいます。

ピューン、ドカーン

沖田「局長ー」「局長ー」

近藤「総司、心配するな。敵の球はOBじゃー」

おあとがよろしいようで。ありがとうございました。